

「朝日小学校の八月踊り伝承活動の取組」

1 学校名

奄美市立朝日小学校

2 学年・人数

小学校 1～6年生 672人

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和4年9月10日（土） 朝日小学校校庭

(2) 発表の日時・場所

令和4年10月2日（日） 第75回秋季大運動会

※ 午前開催のため実施できず。

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

(1) 名称

朝日小学校八月踊り（あさひしょうがっこうはちがつおどり）

(2) 由来

奄美群島に広く伝わる収穫期の踊りである。今年度の豊年に対する感謝、来年度への祈念が込められている。その起源は古くははっきりしていない。

本校区でもそれぞれの集落で伝えられているが、踊りは微妙に異なり、各集落が地域の伝統文化として継承している。

(3) 構成等

三味線やチジン（太鼓）、指笛でリズムを取り、円形に回りながら踊る。男女それぞれ踊り方が異なり、だんだんと速くなるリズムに乗って掛け合いながら踊る。

5 保存会や地域との連携の具体

校区内の最大集落である浦上地区の老人会・婦人会に御協力いただいている。毎年、運動会種目として実施するため、公民館長さんに御指導を依頼し、9月中旬に全校で練習してきた。ここ2年ほどコロナ禍で練習も実施できなかったが、伝統が途絶えることを危惧し、練習だけでも実施することとした。練習には有志30人ほどを招き、御指導いただいた。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

夏季休業中に係が連絡を取り、集落での練習風景をビデオで撮影した。9月の第2土曜日に全体練習が計画されていたので、事前に各クラスでビデオを視聴し、踊りを大まかに覚えてから練習に臨ませた。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



【浦上公民館長による説明】



【婦人部によるチジン伴奏】



【全校児童で練習中】



【浦上公民館の方々】

8 参加児童・保護者・保存会・教員等の感想・意見

今年地域でも実施する集落があると聞き、ぜひ学校でもと運動会種目に予定していたが、コロナ禍の諸事情により実施できなかったのが残念であった。

地域でも学校でも過去2年は踊られなかったことから、小3までの児童の中にはまだ体験したことのない児童も多い。5・6年児童はやっているうちに動きを思い出し、リズムに乗って上手に踊る姿も多く見られた。だんだんとリズムが速くなるにつれ、自然と笑顔になっていく様子が微笑ましく感じた。

古くから伝わる伝統文化が途切れることのないよう、学校も地域と連携して継承活動に関わっていききたい。

【教職員】